



# シフトアップシート 解説版



## 分析手順8ステップ

- ① 対応困難なエピソードの記入
- ② 子供の行動の真意/目的を推測
- ③ 子供の適切な面の見取り
- ④ 子供の強み・特性の記入
- ⑤ この場面で学んでほしいことの設定
- ⑥ 教師の対応の代替案を作成
- ⑦ 3つの試案/連携の検討
- ⑧ 代替案/試案をチェック

①エピソード 具体的なやりとり(会話/行動)	②真意の推測 行動の真意/目的 例:「~かも?」	③適切な面 子供のエピソードで適切な面	④強み 普段の子供の強み、特性	⑤学んでもらいたいこと ★スモールステップで設定 ( 週間)の数字に○印	⑥対応の代替案 子供の強みを意識した 教師のかかわりの代替案	⑦3つの試案/連携 「参考となる支援」を参照 支援の創出/連携の検討	⑧対応の代替案/試案のチェック <input type="checkbox"/> 「学んでもらいたいこと」を学べそう? <input type="checkbox"/> 「~できる」「先生/友達仲間」を育めそう?
---------------------------	--------------------------------	------------------------	--------------------	--	--------------------------------------	--	--

シフトアップシート

月 日 ( ) 時間 授業: 教室/ 特別教室/ 校庭/ 体育館/ 他 年・イニシャル

子供の言動	教師の対応	子供の反応	子供の強み・特性
			学習面 生活面 ちょこっとメモ
★ この場面で子供に学んでもらいたいこと ( 2・3・4 週間で達成できそうなこと)			

参考となる支援

[3つの試案] 人的支援 認める、自己決定の場の提供等	物的支援 構造化、視覚的支援、支援具等	集団へのアプローチ 多様性の認め合い等	[連携] <input type="checkbox"/> 学年/校内で支援を検討 <input type="checkbox"/> 外部専門家の助力を検討 <input type="checkbox"/> 個別の教育支援/指導計画に反映
--------------------------------	---------------------	---------------------	--

## 使い方QRコード

- ・ 使い方ガイドは、分析手順の見本一覧

- ・ 動画は、スライドと音声のナビゲートで1人でもシート作成が可能



## 分析・情報

- ・ 子供の行動観察、子供と教師のやりとりから分析
- ・ 「適切な行動を増やす視点」や「子供の強みを活かす視点」
- ・ 今の子供に合うスモールステップの目標設定

## 3つの試案/連携

- ・ インクルーシブな環境づくりにつながる「人的支援」、「物的支援」、「多様性を認め合う集団へのアプローチ」の視点から支援を検討
- ・ 校内や校外との連携や個別の支援計画/指導計画への反映も検討

## 参考となる支援

支援の参考にするものを、教師自身が自己決定。

## チェックリスト

子供の実態把握をする際に活用。

## 支援の視点となるキーワード

障害種に応じて視点の例を掲載。

参考となる支援

□校内で相談 □外部専門家に相談 □支援のアイデア集 □生成AI □インターネット □研修 □書籍 □その他

## 支援のアイデア集

人的支援(例)		物的支援(例)		集団へのアプローチ(例)	
存在の承認	<input type="checkbox"/> 名前を呼ぶ(名前+挨拶など) <input type="checkbox"/> 関心を向ける言葉(体調、服装等)	物理的な構造化	<input type="checkbox"/> クールダウンの場所を設置 <input type="checkbox"/> 刺激量の調整(視覚、聴覚) <input type="checkbox"/> 座席の配慮(位置、黒板との距離)	教える	<input type="checkbox"/> 失敗時の対処方法 <input type="checkbox"/> 不適切な行為だと知らない時 <input type="checkbox"/> 適切な行為を知らない時 <input type="checkbox"/> 集団での助け合いの具体例
行動の承認	<input type="checkbox"/> 役割を設け「ありがとう」と伝える <input type="checkbox"/> プロセスを認める <input type="checkbox"/> 当たり前前にできていることを認める	時間や指示の視覚化	<input type="checkbox"/> 視覚スケジュール 授業の流れ/日・週・月/本人専用 <input type="checkbox"/> 時間量のわかるタイマーの使用 <input type="checkbox"/> 筆談用のコミュニケーションメモ	認める	<input type="checkbox"/> 「わからない」を伝えられた時 <input type="checkbox"/> 友達と助け合っていた時 <input type="checkbox"/> 一人一人に与えられた役割の遂行時
指示	<input type="checkbox"/> 短文、具体的な指示 <input type="checkbox"/> 一度の指示の数(例:1~2つ) <input type="checkbox"/> 全体像を示し、順序だてて出す	活動の明確化	<input type="checkbox"/> いつ/どこで/何を/どれくらいの量/を文字や表、絵で明示	その他	<input type="checkbox"/> 多様な学習スタイルでの授業(一人・ペア・グループ等) <input type="checkbox"/> 学校/学級の暗黙のルールを明示 <input type="checkbox"/> お互いの違いのよさを価値づけ <input type="checkbox"/> お互いのよさ、強みを生かし合う関係 <input type="checkbox"/> お互いの弱みをフォローし合う関係
話し方	<input type="checkbox"/> Iメッセージ(先生は~だと思う) <input type="checkbox"/> 穏やか/元気に話す(弱/強い刺激) <input type="checkbox"/> 近づいて話す(距離に配慮)	支援具	<input type="checkbox"/> 実態に応じた支援具(リーディングトラッカー、フィジエットイ等) <input type="checkbox"/> 教科に応じた支援具(九九表等) <input type="checkbox"/> ICTの活用		
聞き方	<input type="checkbox"/> まず子供の話を聞く <input type="checkbox"/> 途中で口を挟まず、最後まで聞く				

チェックリスト  
(群馬県の例)



通級による指導  
パッケージver.02  
【IIアセスメント  
パッケージ】

### 支援の視点となるキーワード(例)

共通	見通し、感覚刺激の調整
ASD	納得感、こだわりの活かし方、視覚的支援
ADHD	動きのある活動、空白時間の対応
LD	物的支援の保障、代読、代筆
DCD	協調運動を必要とする活動への配慮

### 生成AI・プロンプト(例)

- ①学年 例:小学3年
- ②診断名・特性・強み
- ③「課題となる行動は…」
- ④「この場面で学んでみたいことは…」
- ⑤「支援を3つ教えて」

### 生成AI・シートの画像+プロンプト(例)

- ①シートの画像
- ②学年 例:中学1年
- ③「この場面で学んでみたいことは…」
- ④「支援を3つ教えて」

方向づけ・決定



今回シート作成  
月 日

定期的な繰り返してスパイラルアップ



実行・観察 代替案・試案の検証

方向づけ・決定



次回シート作成  
月 日

## 定期的な繰り返しの提案

【観察】→【方向づけ】→【支援の決定】→  
【支援の実行】を定期的に繰り返すことで、  
より子供の教育的ニーズにあった支援へ。

\*方向づけ：背景の分析、ニーズの特定、目標設定

## 支援のアイデア集

子供との信頼関係の形成、特別支援教育の基本的な考えの一例。

支援策を創出する前段階で、簡単に参照できる支援のアイデア等。

## 生成AIの活用 プロンプト シート画像+プロンプト

支援の提案を創出をする際のプロンプト項目例。

シートに書き出した項目を参照しながら入力。

